

Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 家計調査(2012年7月)
～個人消費に陰り?～

発表日2012年8月31日(金)

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 主席エコノミスト 新家 義貴
TEL: 03-5221-4528

(%)

		実質消費支出 (二人以上世帯)				実質可処分所得 (勤労者世帯)		消費性向 (勤労者世帯)	
		合計		除く住居等(※)		前年比	前期比	季調値	前期比
		前年比	前期比	前年比	前期比				
11	1月	▲ 0.3	0.9	▲ 0.5	▲ 0.2	▲ 2.7	▲ 0.7	75.9	1.6
	2月	0.5	▲ 0.8	0.2	0.4	2.1	4.1	72.3	▲ 3.6
	3月	▲ 8.2	▲ 3.1	▲ 7.2	▲ 3.5	▲ 3.0	▲ 4.7	72.4	0.1
	4月	▲ 2.0	0.8	▲ 2.0	0.4	▲ 1.8	1.8	72.1	▲ 0.3
	5月	▲ 1.2	▲ 0.4	▲ 1.1	0.5	▲ 2.9	▲ 1.6	73.4	1.3
	6月	▲ 3.5	0.5	▲ 2.8	0.5	▲ 5.9	1.1	72.6	▲ 0.8
	7月	▲ 2.1	0.9	▲ 1.0	1.4	1.1	2.2	71.9	▲ 0.7
	8月	▲ 4.1	▲ 0.2	▲ 4.0	▲ 1.9	▲ 1.9	▲ 2.1	74.0	2.1
	9月	▲ 1.9	0.8	▲ 1.6	1.5	▲ 1.4	1.2	74.1	0.1
	10月	▲ 0.4	0.3	▲ 1.7	▲ 0.2	▲ 3.8	2.3	72.7	▲ 1.4
	11月	▲ 3.2	▲ 0.4	▲ 4.0	▲ 0.7	▲ 1.2	▲ 2.8	74.1	1.4
	12月	0.5	0.0	▲ 0.1	0.3	▲ 1.0	▲ 1.2	74.5	0.4
12	1月	▲ 2.3	▲ 0.2	▲ 1.4	0.8	1.4	1.3	73.7	▲ 0.8
	2月	2.3	1.8	1.9	1.4	1.8	4.6	72.2	▲ 1.5
	3月	3.4	▲ 0.1	3.3	▲ 0.4	3.7	▲ 2.7	72.9	0.7
	4月	2.6	▲ 0.8	3.3	0.2	2.3	0.2	73.0	0.1
	5月	4.0	1.5	2.7	▲ 0.3	▲ 0.4	▲ 4.2	74.6	1.6
	6月	1.6	▲ 1.3	▲ 0.4	▲ 2.1	3.7	5.3	72.0	▲ 2.6
	7月	1.7	▲ 1.3	▲ 0.6	▲ 0.7	▲ 4.0	▲ 5.5	75.4	3.4

(出所) 総務省「家計調査報告」

※「住居」、「自動車購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている

○ 「除く住居等」では前月比で3ヶ月連続の減少

総務省から公表された7月の家計調査実質消費支出(二人以上世帯)は前年比+1.7%となった。前年比では6ヶ月連続のプラスだが、前月比では▲1.3%と、6月の▲1.3%に続いての減少となっている。また、住居、自動車購入、贈与、仕送り金などを除いた「除く住居等」では前年比▲0.6%と2ヶ月連続で減少、前月比では▲0.7%(6月▲2.1%)と3ヶ月連続で減少している。商業販売統計等の他の消費関連指標と同様に、7月の家計調査は低調な結果に終わった。

6月の消費は、気温が低く季節衣料の販売が伸び悩んだことや、台風・豪雨等の天候不順から外出が手控えられた等を背景に比較的大き目の悪化となっていたため、7月には反動増も期待されたが、結果は6月に続いての減少となった。個人消費はこれまで好調な推移が続いていたが、足元で陰りが出始めているように見える。これまで好調だったことの反動や、雇用・賃金の回復の鈍さ、自動車販売の追加的な押し上げ効果の縮小などが影響している可能性がある。

なお、7月の実質消費支出の水準は4-6月期を1.7%下回っている。また、「除く住居等」で見ても7月の水準は4-6月期を2.1%下回る。7-9月期のGDPベースの個人消費が減少に転じる可能性も否定できなくなってきた。

